



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -



～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

活力漲る楽しいロータリー

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 R.I.会長メッセージ

第1172回例会 2015年7月22日 No.1141号

■ 会長時間



会長 川中 敬三

「4つのテスト」 THE FOUR WAY TEST

一言行はこれに照らしてからー Of the things we think ,say or do

- ① 真実かどうか？ (Is it the truth?)
- ② 皆なに公平か？ (Is it fair to all concerned?)
- ③ 好意と友情を深めるか？ (Will it build good and better friendships?)
- ④ みんなのためになるかどうか？ (Will it be beneficial all concerned?)

ロータリーの目的 (Object of Rotary)

ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること
そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること
3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること

皆さん、縁あってロータリーに入会されました、さらに友情を深められ、奉仕の精神を学びましょう。

さて、ある本にリーダーの器量と題して心を打たれる記事がありましたので紹介します。明治4年11月12日、明治新政府の事実上の首班である右大臣岩倉具視を団長に、総勢107名の使節団が横浜港より出発しました。その目的はアメリカとの条約締結他海外視察を10ヶ月間、14ヶ国を歴訪する旅でした。明治維新直後の混沌とした時期に、長期にわたったこの視察団の事を“暴挙”“壮挙”と評価は別れましたが、当時のリーダーが世界の中の日本を知り、日本の針路を誤らずに今日に導いた事実は壮挙であったことは確かであります。

何より特筆すべきは、彼らの溢れんばかりのバイタリティーがあったことでしょう。

リーダーには、1にバイタリティー、2に楽天性、3に絶えざる自己修練、この3つはいつの世も、リーダーに欠かせない資質です。国も会社も家庭もどこにどうリーダーがいるかで決まるのです。国、会社、家庭の浮沈、盛衰が左右されるのは、いつの時代でもリーダーの器量です。とありました。ロータリーの会長職を受けるにあたって、自問自答し自戒の念を強く抱いた次第です。

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】川中 敬三 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】高野 憲一郎 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

| 今回の例会(8月5日) | 次回の例会(8月12日) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|-----|----|------|-----|-----|----|------|-----|-----|----|--|------|----|--|--|
| 会員卓話 下田 敬三 会員 森川 和彦 会員 | 来賓卓話 国際ロータリー第2710地区 グループ6 ガバナー補佐 小川 嘉彦 様 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出席報告 (例会運営委員会) | 来客者紹介 (親睦家族委員会) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月22日(水)出席者 | 7月22日(水)出席者 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="0"> <tr> <td>会員総数</td> <td>52名</td> <td>ご来賓</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>出席会員</td> <td>37名</td> <td>ご来客</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>欠席会員</td> <td>15名</td> <td>ゲスト</td> <td>0名</td> </tr> </table> | 会員総数 | 52名 | ご来賓 | 1名 | 出席会員 | 37名 | ご来客 | 2名 | 欠席会員 | 15名 | ゲスト | 0名 | <table border="0"> <tr> <td>広島RC</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 広島RC | 2名 | | |
| 会員総数 | 52名 | ご来賓 | 1名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出席会員 | 37名 | ご来客 | 2名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 欠席会員 | 15名 | ゲスト | 0名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 広島RC | 2名 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 幹事報告 (高野憲一郎) | |
|---|---|
| <p>■BOX配布物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員名簿手帳版を配布しておりますので、ご確認ください。 <p>■例会変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島西南RC「早期清掃例会」 【とき】8月4日(火)8:00～【※同日変更】 【ところ】メルパルク広島8F ・広島中央RC「夜間例会並びに野球観戦家族会」 【とき】8月6日(木)17:45～【※8/10(月)変更】 【ところ】マツダスタジアム広島 <p>■休会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月10日(月) 広島東南RC ・8月11日(火) 広島RC ・8月12日(水) 広島東RC | <p>■お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次週7月29日は休会となっておりますので、お間違えのないようご注意ください。 ・次回8月5日のプログラムは下田敬三 会員・森川和彦 会員の卓話となっております。ご出席下さいますようお願い致します。 ・本日発行の週報を受付へ置いてありますので、必要な方はお持ち帰りください。 ・本日の例会終了後、創立25周年記念誌委員会を開始致します。賀谷、川中、井口、今田、古谷、武田、渡辺重弘、永岡、吉田壽美枝、堀江 ご出席下さいますようお願い致します。 |

| ニコニコBOX | SMILE BOX | | | | |
|--|---|------------|----------------|-----------|----------------|
| <p>川中敬三 会員、武田龍雄 会員、高野憲一郎 会員</p> <p>木原朋子先生、先日はご苦勞様です。音楽にうとい会員が大 半ですので、よろしくお願ひします。</p> <hr/> <p>山本新太郎 会員</p> <p>木原様、本日は卓話よろしくお願ひ致します。とっても楽しみ にしております。</p> <hr/> <p>川中敬三 会員</p> <p>私は、参加できませんでしたが、11-3で勝利しおめでと うございます。次回チャンスがあれば参加したいと思ひます。</p> <hr/> <p>吉田尊禮 会員</p> <p>7月17日に入籍いたしました。金婚式が出来ますよう長生き すると共に、失敗しない様にながらみます。(大枚)</p> | <p>三村直雅 会員</p> <p>先週の金曜日に次女が産まれました。何度も流産を繰り返 し、今回も切迫早産になりかける等の危機を乗り越えやっと生 まれてきてくれました。大切な家族がまた1人増え、もっと気を 引き締めなければならないと思う気持ちでいっぱいです。ま た、妻の妊娠中は家庭の事情で夜間例会等は殆ど欠席して しまい、大変ご迷惑おかけしました。もう少しして落ち着いたら 今まで出席出来なかった分、積極的に参加して行こうと思っ ております。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。(大枚)</p> | | | | |
| <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">当日計</td> <td style="padding: 2px 10px;">25,000円</td> <td style="padding: 2px 10px;">累計</td> <td style="padding: 2px 10px;">87,000円</td> </tr> </table> | | 当日計 | 25,000円 | 累計 | 87,000円 |
| 当日計 | 25,000円 | 累計 | 87,000円 | | |

来 賓 卓 話

広島呉南特別支援学校の校歌制作にあたって

広島県立呉南特別支援学校
木原 朋子 様

今年の4月、呉市の阿賀に呉南特別支援学校が新しく開校された。この度、この学校の校歌を作詞作曲するご縁をいただいた。箏を弾く私が校歌を作るなんて、全くおかしな話だが、作曲家である杉江慶子さんとの共作という条件での制作がスタートした。



張り切ってスタートはしたものの、どんな校歌を作るべきなのか？学校のイメージも分からないので、実際に杉江さんと共に阿賀へ通う日々が始まった。

校歌というのは、当たり障りのない無難で、普遍的な内容であるべきという考えが、一般的にはあるようだ。しかし私たちは、新しい学校の校舎や校章の斬新なデザインを見た印象も踏まえ、100年後に聞いても古さを感じさせない、毎朝歌いたくなるような爽やかなものにしたいというコンセプトに至った。その他、特別支援学校は幼稚部から高等部までの一貫校であるため、一番長い生徒は16年歌い続けるということ、障がいの種類や度合いも違うということなどを念頭に置き、作曲を進めることになった。生徒さんからの歌詞の提案、学校への思い、校長先生の願いなどを聞いていくうちに、先生方や、保護者の方への応援歌にもなるよう、前向きな曲にしたいという想いが強くなった。皆さんからいただいた言葉や想いを吟味し、心のこもった大和言葉中心の美しい日本語の歌詞を爽やかなメロディーにのせて、新しい校歌が生まれた。

制作過程もそうだが、完成後、開校式での校歌披露の日まで、とことん二人で細部に至るまで話し合い、妥協なしで臨んだ。先生方も、最後の最後まで協力して下さり、校歌披露の日には、私たちが育てた子どもが巣だっていくような、そんな思いで学校の手へと旅立って行った。歌詞にある、「一人じゃないから」という言葉は、世界へのメッセージでもあると思っている。私自身、本当にいい経験をさせていただくことが出来た。引き続き、学校とも音楽を通して交流を続けていきたいと思っている。